

ツシマヤマネコの 飼育下繁殖事業に取り組みます

よこはま動物園ズーラシアでは、長崎県対馬にのみ生息するツシマヤマネコの保護増殖事業に参画しています。この事業は「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」に基づき、環境省と(公社)日本動物園水族館協会が進めているものです。

この事業に寄与するため、平成 28 年 11 月 29 日(火)に、当園から名古屋市東山動植物園へツシマヤマネコ(オス)が出園し、平成 28 年 11 月 30 日(水)に同園からツシマヤマネコ(メス)が入園します。

なお、今回入園する個体は非公開施設で飼育します。



東山動植物園から入園する「ひなた」(メス)



よこはま動物園から出園する「さんちゃん」(オス)

ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業について

保護増殖事業に基づき以下の目的で実施しています。

- (1) 対馬の環境が改善し、生息地で安定して生息が可能になるまでの生息域外での種の保存
- (2) 野生個体群の保護活動の補完(野生復帰など)
- (3) 科学的データを収集、解析し、生息地でのツシマヤマネコの保護対策への応用
- (4) ツシマヤマネコの現状について全国的に普及啓発を行うことで、野生個体群保護を推進すること

ツシマヤマネコについて

英名	Tsushima Leopard Cat
学名	<i>Prionailurus bengalensis euptilurus</i>
分類	食肉目ネコ科
分布	長崎県 対馬
習性	長崎県対馬にだけ生息する野生のネコ。住民には「トラヤマ」や「タネコ」と呼ばれている。薄明薄暮（日出・日没の前後数時間）に活発に活動し、小型哺乳類（ネズミ、モグラ）、小鳥、カエル、ヘビ、バッタ等をエサとしている。普通の飼い猫よりやや小さいが、耳の後ろの白い斑紋（虎耳状斑）と太くて長い尻尾が特徴。対馬の分布は徐々に減っており、絶滅が危惧されている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅱ 現在は必ずしも絶滅のおそれはないが、取引を規制しなければ絶滅のおそれのあるもの
その他	環境省レッドリスト絶滅危惧ⅠA 類 天然記念物 国内希少野生動植物種
国内飼育個体数	オス20頭 メス15頭 計35頭（2016年10月31日現在）
当園飼育数	オス2頭 メス1頭（今回入園個体含む）

今回出入園する個体について

入園 ひなた（メス）：2001年4月16日 福岡市動物園生まれ 15歳

出園 さんちゃん（オス）：2004年4月19日 福岡市動物園生まれ 12歳

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料（毎週土曜日高校生以下無料）
※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、12/29～1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅、JR 横浜線・市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで15分、「横浜駅」から「よこはま動物園」行きバス1時間
- ◆URL：<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000